



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 一休  
 コード番号 2450 URL <http://www.ikyuu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(氏名) 森 正文  
 (氏名) 大橋 広樹

TEL 03-6685-0019

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,679	10.0	308	69.8	331	68.6	100	△4.0
23年3月期第2四半期	1,526	0.7	181	△77.1	196	△75.7	104	△77.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	338.16	338.16
23年3月期第2四半期	352.36	352.36

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,662	4,756	71.2
23年3月期	5,942	4,980	83.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,744百万円 23年3月期 4,970百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1,100.00	1,100.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,100.00	1,100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,444	16.7	760	21.9	802	22.6	374	40.3	1,256.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	297,718 株	23年3月期	297,718 株
24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期2Q	297,718 株	23年3月期2Q	297,718 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成23年10月27日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、同日中に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 追加情報	8
(7) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

(単位：千円)

内 訳	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	対前年同期増減率 (%)	前事業年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
サイト運営手数料収入	1,458,691	1,633,308	12.0	2,824,092
「一休.com」	1,352,745	1,430,682	5.8	2,543,572
「一休.comレストラン・贈る一休」	105,726	137,102	29.7	247,312
その他 「一休マーケット」等	219	65,523	—	33,206
広告収入、その他	68,069	46,011	△32.4	126,475
合 計	1,526,760	1,679,320	10.0	2,950,567

当第2四半期累計期間における当社を取り巻く外部環境は、東日本大震災の影響による個人の経済活動の自粛、放射能汚染の不安や、長引く円高の影響を受けて外国人の来日数が激減するなどホテルや旅館など観光業を営む施設には大変厳しい状況となりました。こうした中、当社サイトでは販売部屋在庫数確保に努めるとともに、タイムセール等積極的な販促策により、販売数が前年に比べ増加しました。

当社では、4月より一休会員制プログラム「fan」をスタートし、ポイント付与率の大幅引き上げ、またスタンプ付与による複数サービスの利用増加を目指し会員へのサービス拡充を図ってまいりました。また、「fan」プログラムスタートにあたり、4月より宿泊施設からの手数料率を現行の8%を10%に引き上げる予定でしたが、震災の影響が宿泊施設に直接的・間接的に多大な影響を与えたことを考慮し、値上げ時期を10月に延期いたしました。上期については、「fan」のロイヤリティプログラム拡充のためのコストを当社にて負担してまいりました。

「一休.com」、「一休.comビジネス」の取扱施設数は当第2四半期会計期間末において、ホテル1,416施設(うち一休.comビジネス726施設)、旅館639施設、合計2,055施設となり、前事業年度末のホテル1,339(うち一休.comビジネス657施設)、旅館607施設、合計1,946施設から109施設増加いたしました。販売宿泊室数は約76万室(前年同期約70万室)、販売取扱高は16,998百万円(前年同期16,352百万円)となり、一室あたりの平均単価は22,456円(前年同期23,390円)となりました。その結果手数料収入は1,430百万円(前年同期1,352百万円)となりました。

「一休.comレストラン」、「贈る一休」の手数料収入は137百万円(前年同期105百万円)となりました。

昨年10月にスタートした「一休マーケット」の手数料収入は、65百万円となりました。

「広告収入、その他」は、46百万円(前年同期68百万円)となりました。

これらの結果、「サイト運営手数料収入」は1,633百万円(前年同期1,458百万円・12.0%増)となり、「広告収入、その他」を加え営業収益は1,679百万円(前年同期1,526百万円・10.0%増)となりました。一方、営業費用は上記ロイヤリティプログラムの強化に伴い、ポイント引当金繰入額等が増加しましたが、昨年実施したテレビ広告については実施しなかったため1,371百万円(前年同期1,345百万円・1.9%増)となりました。結果、営業利益308百万円(前年同期181百万円・69.8%増)、経常利益331百万円(前年同期196百万円・68.6%増)となり、森トラスト株式会社との中国合弁事業の解消に伴う事業撤退損など152百万円を特別損失として計上し、四半期純利益100百万円(前年同期104百万円・4.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ719百万円増加し、6,662百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が378百万円減少した一方で、海外事業展開を目的とした合弁会社設立に伴い関係会社株式が802百万円、繰延税金資産(流動・固定)が172百万円及び売掛金が166百万円増加したためであります。

負債合計額は前事業年度末に比べ943百万円増加し、1,905百万円となりました。その主な要因は、未払金が394百万円、未払法人税等が208百万円及びポイント引当金が209百万円増加したためであります。

クレジットカード事前決済の増加等により、カード会社に対する未収入金、預り金及び宿泊施設に対する未払金が増加しております。

純資産は、前事業年度末に比べ223百万円減少し4,756百万円となりました。その主な要因は、配当の実施による減少327百万円、四半期純利益の計上による増加100百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は2,465百万円となり、前事業年度末と比べ365百万円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、726百万円の収入となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益178百万円、営業債務の増加398百万円、売上債権の増加166百万円及びポイント引当金の増加209百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、767百万円の支出となりました。その主な要因は、関係会社株式の取得による支出802百万円、投資有価証券の売却による収入60百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額325百万円の支出のみとなりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

宿泊予約サイト「一休.com」及び「一休.comビジネス」の当上半期実績及び下半期の予約状況において、販売宿泊室数が想定以上に伸びており、従来の通期の業績予想を以下の通り改訂いたします。

「一休.com」の販売宿泊室数につきましては約143万室、販売取扱高は317億円、手数料収入は3,354百万円(従来予想は3,060百万円)を見込み、営業収益全体では3,444百万円(従来予想は3,142百万円)を見込みます。

営業費用につきましては、主としてポイント・スタンプ費用が増加するため、2,683百万円(従来予想は2,602百万円)を見込みます。

以上により、通期の営業利益は760百万円(従来予想は539百万円)、経常利益は802百万円(従来予想は579百万円)、当期純利益は374百万円(従来予想は331百万円)となるものと予想しております。

なお、配当予想の変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,331,254	2,952,760
売掛金	319,112	485,311
貯蔵品	2,323	3,776
前払費用	19,540	41,008
繰延税金資産	49,057	151,728
未収入金	128,216	275,764
その他	14,061	19,269
貸倒引当金	△1,104	△548
流動資産合計	3,862,462	3,929,071
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	20,032	18,806
車両運搬具(純額)	6,553	5,186
工具、器具及び備品(純額)	45,656	46,854
有形固定資産合計	72,242	70,847
無形固定資産		
ソフトウェア	483,289	421,800
電話加入権	44	44
無形固定資産合計	483,334	421,845
投資その他の資産		
投資有価証券	1,103,391	1,014,159
関係会社株式	30,600	833,000
破産更生債権等	2,075	645
繰延税金資産	248,259	317,812
敷金及び保証金	70,435	69,430
その他	72,029	81,978
貸倒引当金	△2,075	△645
投資損失引当金	—	△75,409
投資その他の資産合計	1,524,716	2,240,971
固定資産合計	2,080,292	2,733,664
資産合計	5,942,754	6,662,735

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	531,038	925,810
未払費用	2,107	7,184
未払法人税等	48,000	256,000
未払消費税等	5,173	29,941
前受金	110,169	129,247
預り金	131,409	211,560
ポイント引当金	84,448	293,803
流動負債合計	912,347	1,853,549
固定負債		
役員退職慰労引当金	49,904	52,212
固定負債合計	49,904	52,212
負債合計	962,251	1,905,761
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	888,998	888,998
資本剰余金	1,095,233	1,095,233
利益剰余金	2,993,922	2,767,108
株主資本合計	4,978,153	4,751,340
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,597	△7,027
評価・換算差額等合計	△7,597	△7,027
新株予約権	9,946	12,660
純資産合計	4,980,502	4,756,973
負債純資産合計	5,942,754	6,662,735

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	1,526,760	1,679,320
営業費用		
役員報酬	77,532	93,417
給料手当	182,224	219,822
人材派遣費	101,258	123,469
広告宣伝費	497,707	207,077
支払手数料	84,274	127,383
システム関連費	110,887	45,946
減価償却費	78,129	80,753
貸倒引当金繰入額	171	—
役員退職慰労引当金繰入額	4,115	2,307
ポイント引当金繰入額	27,784	254,779
その他	181,189	216,190
営業費用合計	1,345,277	1,371,148
営業利益	181,483	308,171
営業外収益		
受取利息	3,604	2,607
有価証券利息	7,979	10,905
受取配当金	12	14
退職益	1,940	15,795
その他	1,430	3,000
営業外収益合計	14,966	32,323
営業外費用		
為替差損	51	9,283
保険解約損	24	—
その他	—	61
営業外費用合計	76	9,344
経常利益	196,372	331,150
特別利益		
固定資産売却益	1,256	—
特別利益合計	1,256	—
特別損失		
投資有価証券売却損	—	32,370
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,968	—
事業撤退損	—	120,000
その他	30	—
特別損失合計	11,998	152,370
税引前四半期純利益	185,630	178,780
法人税、住民税及び事業税	105,319	250,719
法人税等調整額	△24,594	△172,615
法人税等合計	80,725	78,104
四半期純利益	104,905	100,676



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	185,630	178,780
減価償却費	78,129	80,753
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,968	—
固定資産売却損益(△は益)	△1,256	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	32,370
貸倒引当金の増減額(△は減少)	147	△1,985
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,115	2,307
ポイント引当金の増減額(△は減少)	18,041	209,354
投資損失引当金の増減額(△は減少)	—	75,409
受取利息及び受取配当金	△11,596	△13,527
売上債権の増減額(△は増加)	△160,330	△166,198
営業債務の増減額(△は減少)	181,146	398,853
未収入金の増減額(△は増加)	67,470	△149,011
預り金の増減額(△は減少)	51,635	80,151
その他	26,520	26,847
<b>小計</b>	<b>451,623</b>	<b>754,104</b>
利息及び配当金の受取額	15,863	12,399
法人税等の支払額	△210,767	△39,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,719	726,933
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△500,000
定期預金の払戻による収入	—	500,000
有形固定資産の取得による支出	△33,929	△11,949
有形固定資産の売却による収入	3,600	360
無形固定資産の取得による支出	△79,770	△5,262
投資有価証券の取得による支出	△176,269	—
投資有価証券の償還による収入	400,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	60,549
関係会社株式の取得による支出	—	△802,400
敷金及び保証金の回収による収入	—	1,463
その他	△6,652	△9,948
投資活動によるキャッシュ・フロー	106,978	△767,187
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△323,187	△325,273
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323,187	△325,273
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	40,510	△365,526
現金及び現金同等物の期首残高	2,968,904	2,831,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,009,415	2,465,727

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
--

平成23年4月より一休スタンプの付与を開始したことに伴い、顧客に付与したスタンプの利用に備えるため、当第2四半期会計期間末において将来利用されると見込まれる額をポイント引当金に含めて計上しております。
--

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。